

東日本大震災の復興祈念公園及び 国営追悼・祈念施設(仮称)について

東北地方整備局

東北国営公園事務所

脇坂 隆一

復興構想7原則

「失われたおびただしい「いのち」への追悼と鎮魂こそ、私たち生き残った者にとって復興の起点である。この観点から、鎮魂の森やモニュメントを含め、大震災の記録を永遠に残し、広く学術関係者により科学的に分析し、その教訓を次世代に伝承し、国内外に発信する。」

(平成23年5月10日 復興構想7原則の第一)

震災復興祈念公園の役割

- ・「追悼・鎮魂」と「震災の記録・教訓の伝承」は、あらゆる機会を通じ、あらゆる場面で、あらゆる主体により行われるもの。
- ・その中で震災復興祈念公園には、以下の役割が求められる。
 - * 追悼と鎮魂の場
 - * 記録・教訓の伝承の機能
 - * 地域の復興のビジョンや新たなコミュニティのあり方を示す場

国と地方の役割分担

- 震災復興祈念公園は、原則として地方公共団体において整備するもの。
- 他方、一の地域を越え、広域にわたり甚大な被害が生じた未曾有の大災害であることから、以下のような役割が国にも求められる。
 - * 全ての犠牲者への追悼と鎮魂
 - * 日本の再生に向けた復興への強い意志を国内外に向けて明確に示すこと
 - * 震災からの復興を成し遂げた地域のすがたを示すこと

国と地方が連携して検討する 震災復興祈念公園のあり方

立地：地域の発意を踏まえつつ、被災の全容を象徴しているなど、国民全体で追悼と鎮魂に思いを寄せ、後世に伝承することがふさわしい場所に立地することが望ましい。

機能：

- ① 失われた全ての命に対する追悼と鎮魂の場の設置
- ② 復興への意志を国内外に宣言するとともに、復興後の我が国の姿を想起させるなど、復興を祈念する場の設置
- ③ 被災の実情とその教訓を広く国内外に伝え、後世に伝承する場の設置

H26.10.31 閣議決定(復興庁)

東日本大震災からの復興の象徴となる 国営追悼・祈念施設(仮称)の設置について

東日本大震災による犠牲者への追悼と鎮魂や、震災の記憶と教訓の後世への伝承とともに、国内外に向けた復興に対する強い意志の発信のため、国は、地方公共団体との連携の下、岩手県陸前高田市及び宮城県石巻市の一部の区域に、国営追悼・祈念施設(仮称)を設置する。

国営追悼・祈念施設(仮称)の概要

目的:

- ①東日本大震災による犠牲者への追悼と鎮魂
- ②震災の記憶と教訓の後世への伝承
- ③国内外に向けた復興に対する強い意志の発信

場所:

【岩手県】陸前高田市(高田松原地区)

【宮城県】石巻市(南浜地区)

内容:

地方公共団体が整備する復興祈念公園(仮称)の中に、国が中核的施設となる丘や広場等を設置することを想定(面積は数ha程度)

国営復興祈念施設(仮称) 予定位置図

岩手県地区(陸前高田市高田町及び気仙町の一部)



宮城県地区(石巻市南浜町及び門脇町の一部)



国営みちのく杜の湖畔公園(宮城県川崎町)



福島県地区

陸前高田市高田松原地区



被災前写真：
平成19年5月撮影



被災後写真：
平成23年3月28日撮影

陸前高田市高田松原地区



三陸沿岸道路高田道路

陸前高田IC

市役所

竹駒地区

中心市街地

気仙川

国道45号

古川沼

気仙大橋

タピック45

希望の
かけ橋

定住促進住宅

重点道の駅「高田松原」
三陸沿岸地域の震災の実情と教訓を伝承する
ゲートウェイとして、国・県・市が連携して再生

広田湾

奇跡の一本松

国営追悼・祈念施設(仮称)
地方公共団体が整備する公園内に、国が中核的施設
となる丘や広場等を設置(面積は数ha程度)

地方公共団体が整備する
高田松原津波復興祈念公園

気仙中学校校舎

従前の高田松原公園



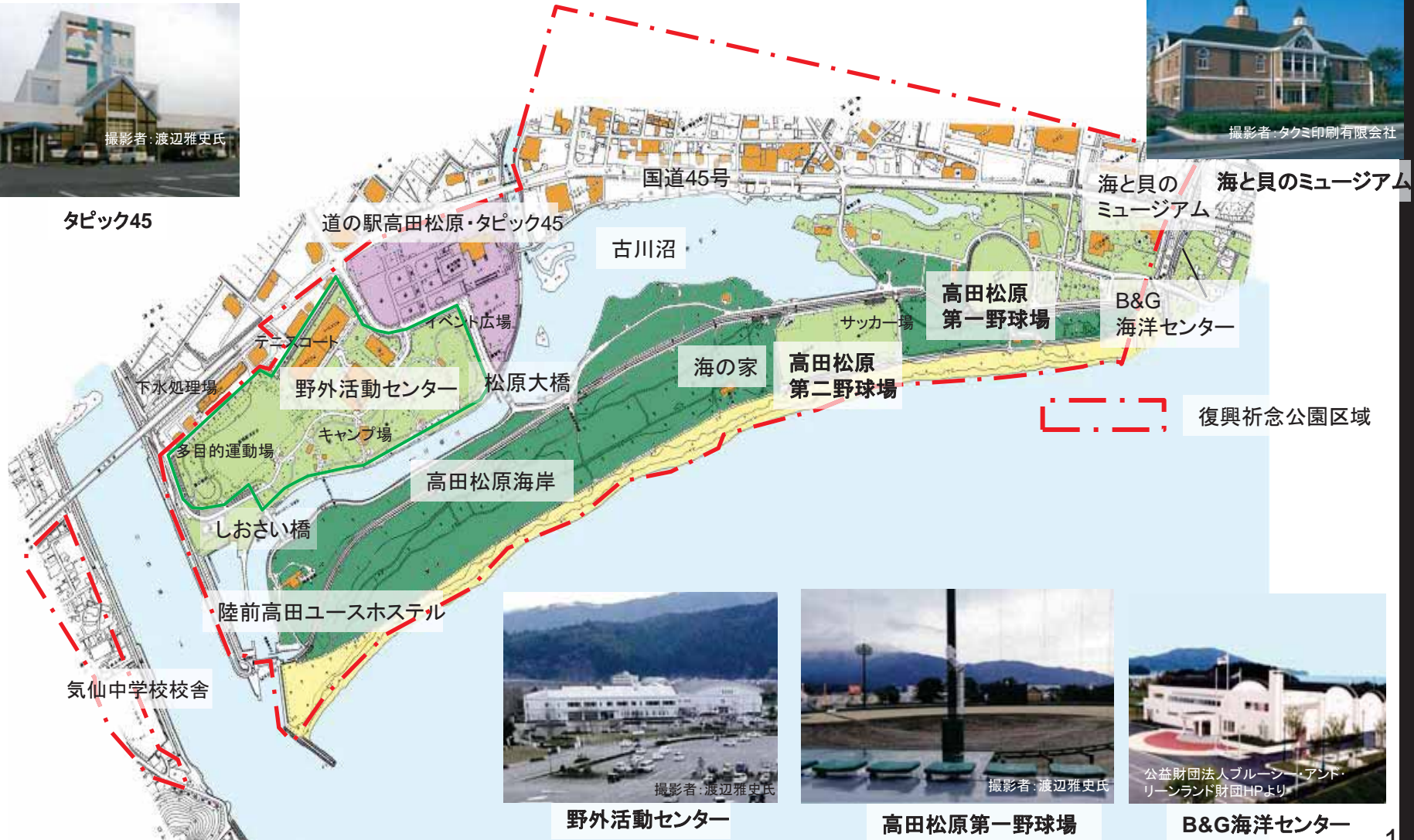
撮影者: 渡辺雅史氏

タピック45



撮影者: タクミ印刷有限公司

海と貝のミュージアム



撮影者: 渡辺雅史氏

野島活動センター



撮影者: 渡辺雅史氏

高田松原第一野球場



公益財団法人ブルー・シー・アンド・リーランド財団HPより

B&G海洋センター

現在の高田松原



奇跡の一本松



奇跡の一本松
を用いたアイコン
(出典: 「奇跡の一本松 THE MIRACLE PINE TREE」パンフレットより)

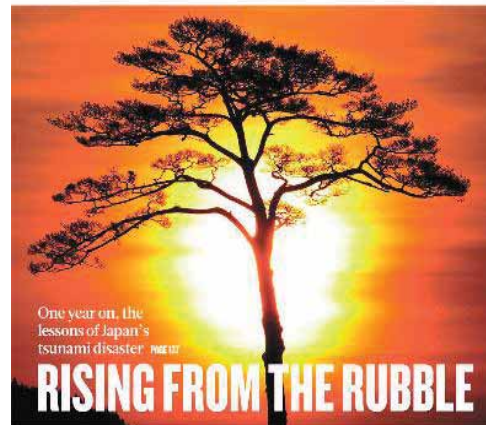


やなせたかし製作CD
「陸前高田の松の木」
(出典: 陸前高田市観光物産協会ホームページより)



PanasonicのLED照明でライトアップされる奇跡の一本松
(出典: panasonicHPより)

nature



Reprinted by permission from Macmillan Publishers Ltd.
Nature Vol. 433, 8 March 2012. Copyright 2012 THE LOST GENERATION
PHYSICS WERE FOUR THE LOST GENERATION
Bertalan Ábrahám's classic Aim: returning academics to
scientific images computer-aided act Making young blood
WELSH WELSH

英科学誌ネイチャーの表紙にもとりあげられた「奇跡の一本松」



東日本大震災復興事業記念貨幣
一万円金貨幣(共通面) (出典: 財務省ホームページより)

高田松原地区復興祈念公園 基本構想

基本理念

奇跡の一本松が残ったこの場所で
犠牲者への追悼と鎮魂の思いとともに
震災の教訓とそこからの復興の姿を
高田松原の再生と重ね合わせ
未来に伝えていく



高田松原津波復興祈念公園基本構想

○「基本理念」「基本方針」の設定及び「公園イメージ」の整理

基本理念

奇跡の一本松が残ったこの場所で
犠牲者への追悼と鎮魂の思いとともに
震災の教訓とそこからの復興の姿を
高田松原の再生と重ね合わせ未来に伝えていく

8つの基本方針

- (1) 失われたすべての生命（いのち）の追悼・鎮魂
- (2) 東日本大震災の被災の実情と教訓の伝承
- (3) 復興への強い意志と力の発信
- (4) 三陸地域に育まれた津波防災文化の継承
- (5) 公園利用者や市街地の安全の確保
- (6) 歴史的風土と自然環境の再生
- (7) 市街地の再生と連携したまちの賑わいの創出
- (8) 多様な主体の参加・協働と交流

公園イメージ

震災への想いと追悼・鎮魂

未来への展望

かつての郷土の風景の継承

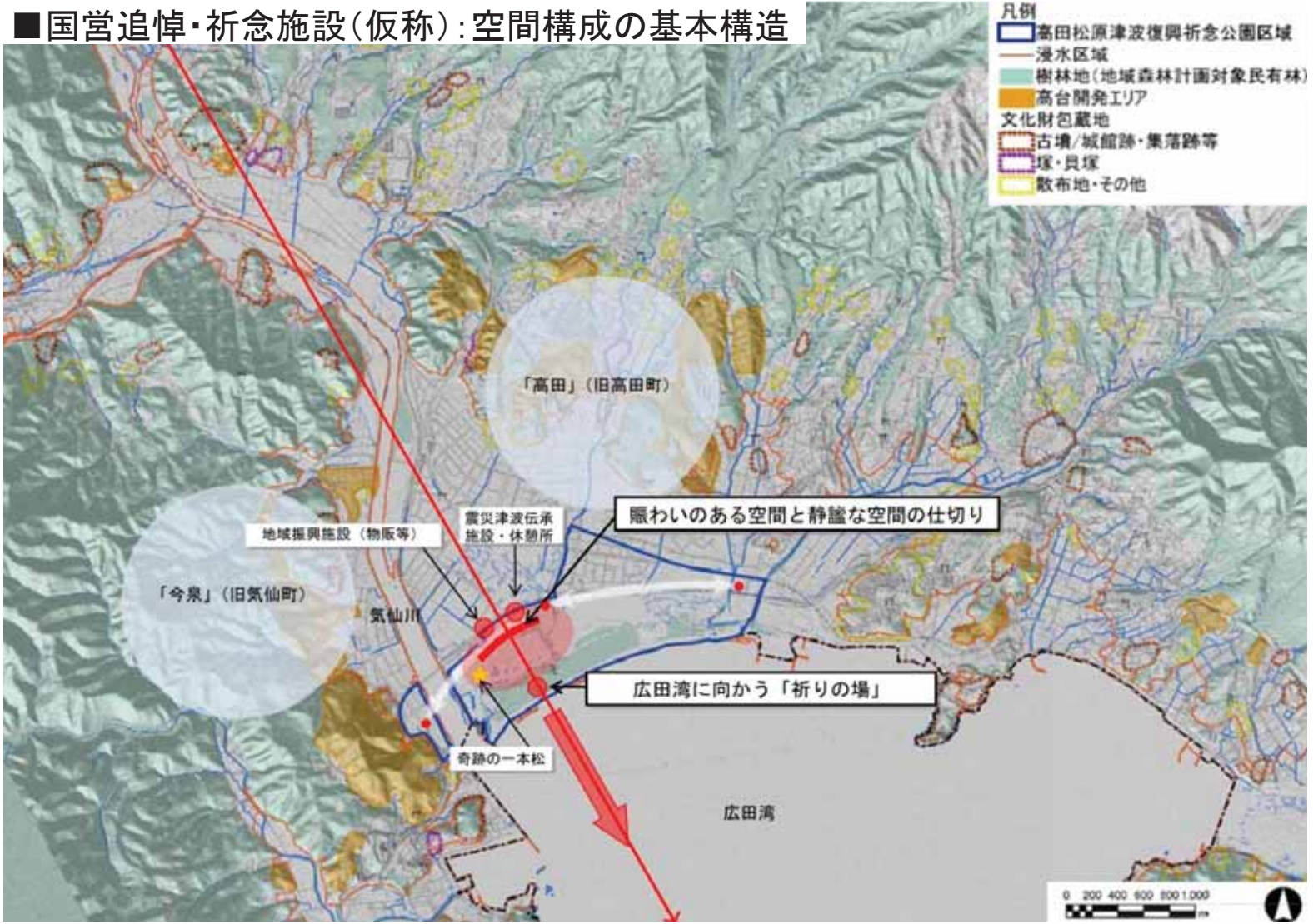
人とまちの安全の確保

利活用イメージ

空間イメージ

高田松原津波復興祈念公園基本計画

■ 国営追悼・祈念施設(仮称): 空間構成の基本構造



資料: 浸水区域/「東日本大震災による被災現況調査(岩手5)」(H24.3 国土交通省), 樹林地(地域森林計画対象民有林)/岩手県森林資源管理システム 森林資源データ(岩手県)を基に作成, 高台開発エリア/「土地利用構想図/陸前高田市復興整備計画(第7回変更H25.7.30公表)」(陸前高田市)を基に作成, 埋蔵文化財包蔵地/「岩手県遺跡・埋蔵文化財情報検索システム」のデータを基に作成

高田松原津波復興祈念公園基本計画

川原川とシンボルロードに挟まれた区域

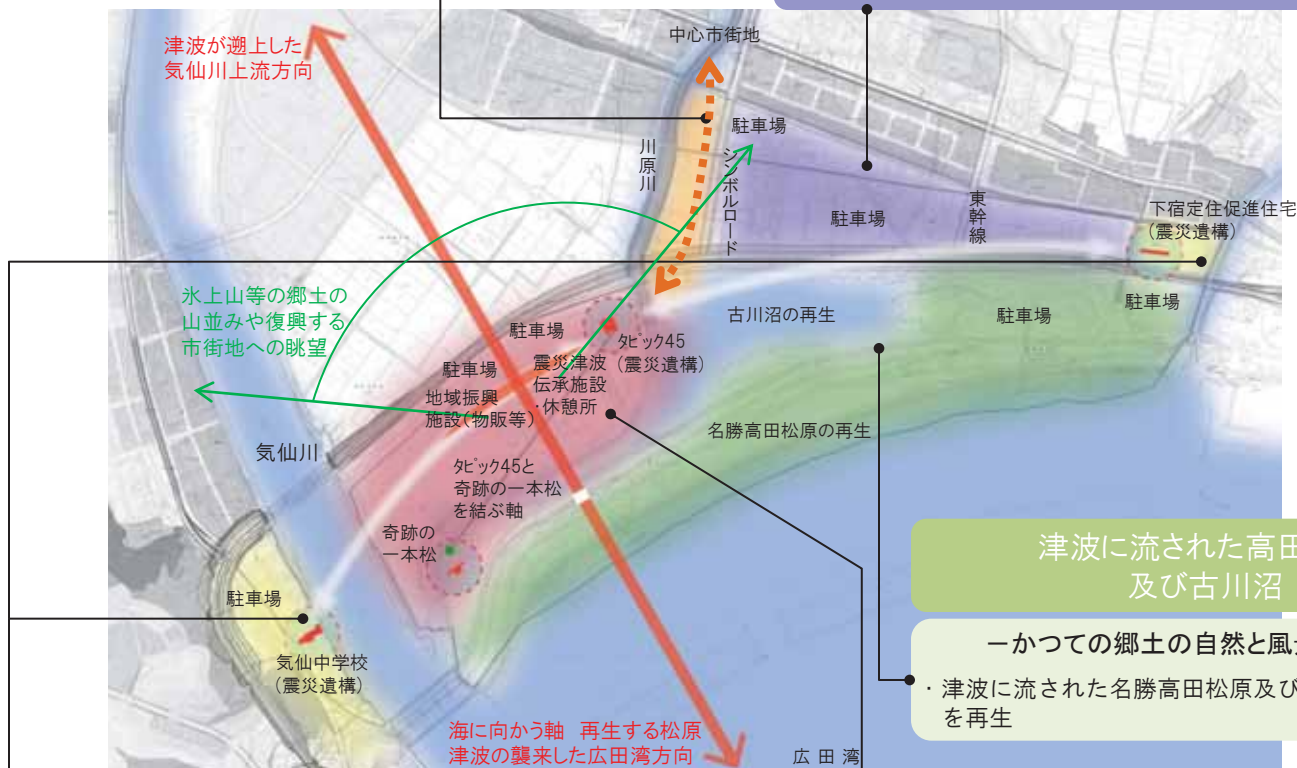
— 中心市街地と公園を結ぶ憩いの空間 —

- ・ 中心市街地と公園を結ぶ憩いの空間
- ・ 市道・JR鉄道跡を活用した教訓を伝承するための空間

国道45号北側部

— かつて市民に親しまれてきた憩いの場・運動施設等の活動空間 — (高田松原公園の運動施設や広場等の復旧)

- ・ 運動施設等の活動空間(野球場、サッカー場や広場等)
- ・ 市道・JR鉄道跡等を活用した教訓を伝承するための空間
- ・ 公園との空間的な調和を図る接続空間 (国道45号)



津波に流された高田松原及び古川沼

— かつての郷土の自然と風景の再生 —

- ・ 津波に流された名勝高田松原及び古川沼を再生

主要アクセス道路からの入口に位置する区域

— 震災遺構を活かした公園の顔となるゲート空間 —

- ・ アクセシビリティを活かしたゲート空間
- ・ 震災遺構を活用した教訓を伝承するための空間

国営追悼・祈念施設(仮称)及び周辺地域

— 追悼・鎮魂の場となる空間 —

- ・ 震災への想いと追悼・鎮魂の空間
- ・ 教訓の伝承や復興への力を発信する空間

高田松原津波復興祈念公園基本計画

①周辺への眺望が確保された高さの築山

- *道の駅の賑わいのある日常空間と、静謐な追悼・鎮魂の折りの空間を仕切るため、震災遺構（気仙中学校、タビック45、下宿定住促進住宅）を繋ぎ広田湾を包む「円弧」上に、帯状の築山を設置
- *天端部分には、永上山等の郷土の山並みや復興する高田や今泉の市街地の姿を眺望できる場を設置
- *津波が襲来した際には、やむを得ず避難できなかった人が緊急的に上れる場所

②静謐な広場空間

- *道の駅の賑わいのある日常空間から仕切られ、周囲の自然環境に包まれた静謐な空間を形成、関連する各種の式典の開催場所

③折りの場へいざなう空間

- *ゲートを抜け静謐な広場空間に入り込み、広場越しに海方向にピスタが通り、川原川に架かる人道橋を経て、海への展望が開かれる「折りの場」にいざなう空間を形成

⑤震災の実情や教訓を伝承するための空間

- *震災遺構としてのタビック45との軸線を意識しつつ、奇跡の一本松を象徴として震災や津波の記憶を伝承

⑥復興への意思と力を国内外に発信する空間

- *奇跡の一本松を復興への意思を発信する象徴とする
- *折りの場から眼下に広がる高田松原の再生の姿も、復興への意思を発信する重要な要素

⑤震災の実情や教訓を伝承するための空間

- *タビック45を伝承のための震災遺構の拠点とし、隣接して震災や津波の記憶と教訓を伝承するための施設を設置

⑥復興への意思と力を国内外に発信する空間

- *震災津波伝承施設では、国内外からの来訪者に対し、震災の記憶と教訓の伝承のほか、被災地の再生に向けた復興への強い意志と力を発信

④犠牲者に想いを寄せ、風景を眺めながら遺遊できる空間

- *広場の両側に、震災遺構（タビック45）と奇跡の一本松への軸線が確保された遺遊のための自然的空間を整備



保存・活用を図る3つの震災遺構を繋ぎ、広田湾を包む円弧



第一線堤 名勝高田松原 折りの場 第二線堤 静謐な広場空間 震災津波伝承施設 国道45号

「国営追悼・祈念施設（仮称）」及び周辺地域の断面模式図 S=1:3,000

本図は、空間構成の基本構造を踏まえた検討案であり、施設の位置や規模等は確定したものではない。

高田松原津波復興祈念公園基本計画

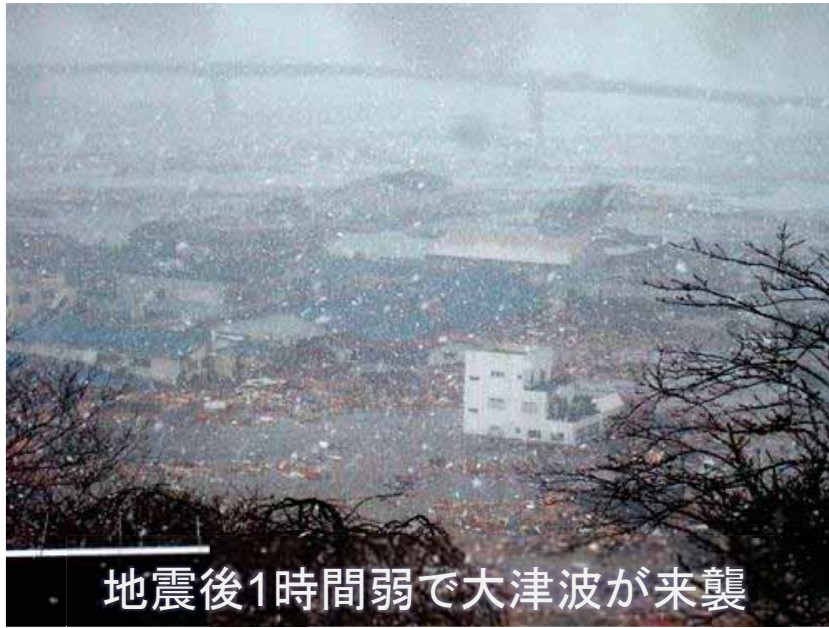
■ 教訓の伝承のあり方：当公園を核とする周辺施設と連携した教訓伝承のイメージ



具体的な経路等については、市の関連計画等との整合を図りつつ、今後詳細に検討

注：保存が決定しているもの、検討中のものを含みます。

石巻市南浜地区



地震後1時間弱で大津波が来襲



市立病院方向でも火の手が上がる



夜になり門脇町に延焼



火災は日和山の麓まで迫った

石巻市南浜地区

2011年3月

日和山より南浜地区を望む(H23.3.13撮影)



石巻市南浜地区



河川堤防
T. P+4. 1m

新門脇地区
土地区画整理事業

河川堤防
T. P+4. 5m

河川堤防
T. P+7. 2~4. 5m

門脇流留線

海岸堤防
T. P+7. 2m

防災集団移転
促進事業

河川堤防
T. P+7. 2m

石巻市南浜地区



石巻赤十字病院

石巻専修大学

JR石巻駅
市役所

日和山

中瀬

日本製紙
石巻工場

旧門脇小学校校舎

がんばろう！
石巻

新門脇地区

旧北上川

善海田
稲荷

マリーナ
計画地

日和大橋

濡仏

国営追悼・祈念施設(仮称)

地方公共団体が整備する公園内に、国が中核的施設となる丘や広場等を設置(面積は数ha程度)

地方公共団体が整備する
南浜地区復興祈念公園(仮称)

石巻市南浜地区復興祈念公園(仮称)基本構想

基本理念

東日本大震災により犠牲となったすべての生命
(いのち)への追悼と鎮魂の思いとともに、

- まちと震災の記憶をつたえ
- 生命(いのち)のいとなみの杜をつくり
- 人の絆(きずな)をつむぐ

石巻市南浜地区復興祈念公園(仮称)基本構想

【犠牲者への追悼と鎮魂の場を構築します】

宮城県や被災地全体の追悼と鎮魂の中核的な場所として、祈りの空間を整備します。

【被災の実情と教訓を後世に伝承します】

この地の環境変化と震災被害を実感し、教訓を伝承する場を整備します。

【復興の象徴の場としてメッセージを国内外に発信します】

美しい杜への再生により、震災からよみがえる被災地の姿と重ねあわせた復興の象徴空間を整備します。

【多様な主体の参画・協働の場を構築します】

人と人とのつながりの再生が、真の復興につながるため、多様な主体が参画・協働できる場を構築します。

【来訪者の安全を確保します】

適切な避難が円滑にできるよう、避難場所となる丘や周辺の高台への避難経路などを整備します。

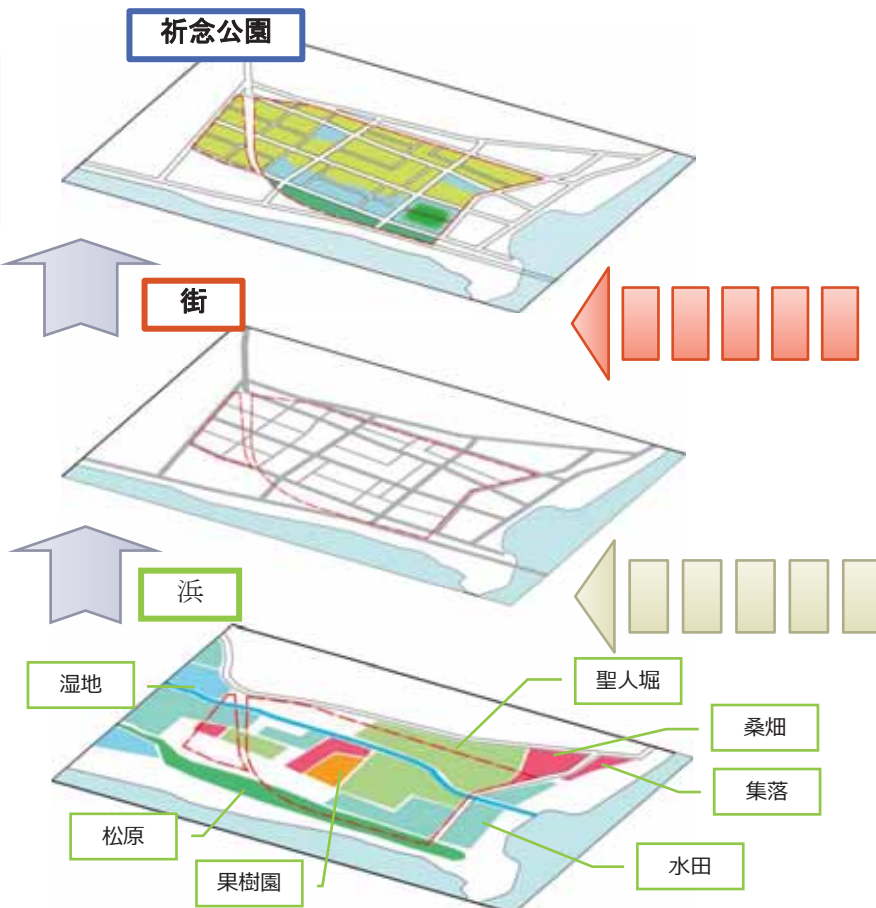
浜・街・祈念公園の場所性を重ねる

南浜・雲雀野・門脇(南浜地区)における集落の成り立ちの歴史や風土を示すかつての「浜」と、震災前に蓄積された半世紀の南浜地区への想いや記憶を示す「街」を土地利用の基本的前提とし、そこから東日本大震災による犠牲者を追悼し、被災の教訓を次世代へと継承していくことを祈念するための「祈念公園」を描きだす。

祈念公園:H32～
復興祈念公園としての追悼と教訓伝承の場

街:S30～H23
戦後急激に市街化され成熟した住宅地と生活の記憶

浜:～S20
北上川の河口部の砂浜、松林、水田、微高地における畑や住家



H23
東日本大震災
約400人が犠牲

S30～40
戦後の急激な
市街化

かつての南浜地区

■かつての南浜地区



昭和34年 聖人堀



昭和35年 門脇

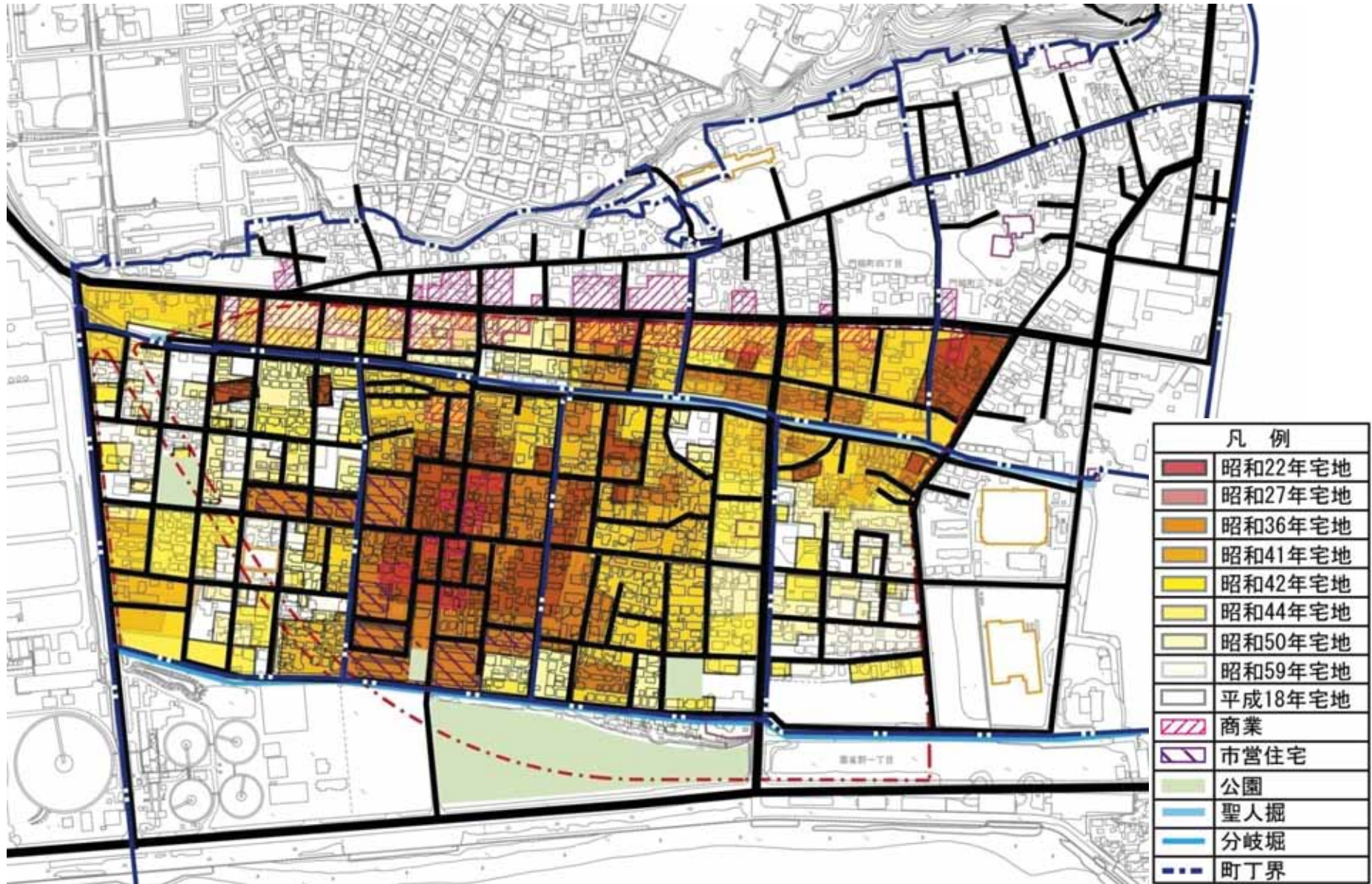


昭和35年 雲雀野海岸



昭和35年 雲雀野海岸

石巻市南浜地区の宅地化



震災前の街

■震災前の街



Image © 2014 DigitalGlobe

Google earth

震災直後の南浜



■ 南浜・門脇地区 平成23年3月13日(国土地理院)

南浜周辺に残された震災遺構



▲津波後に火災が発生した旧門脇小
※出典: 石巻市震災伝承検討委員会資料



▲津波で仏像が流失した濡仏



▲聖人堀のほとりに残る北向地蔵



▲微高地に残る善海田稲荷



▲旧北上川の放流口が破壊された聖人堀



▲敷地内に残るかつての街路



▲津波の破壊力を物語る建物の基礎



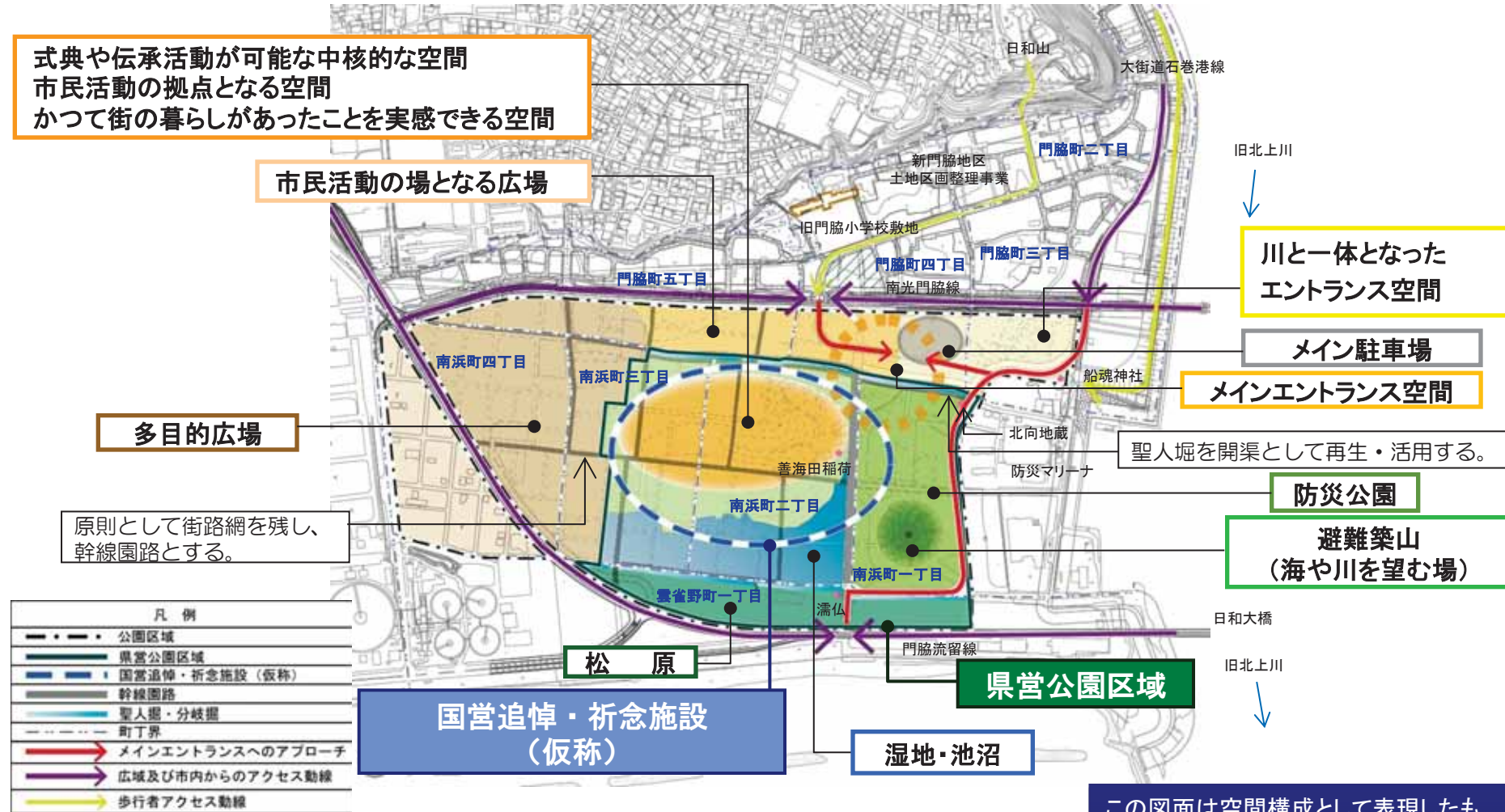
▲原風景を彷彿させる津波後の湿地



▲古くから利用された西光寺と海を結ぶ道

石巻市南浜地区復興祈念公園(仮称)基本計画

■ 基本計画図



※濡仏、善海田稲荷、北向地藏などの神社・仏閣は、公園区域から除外し存置。

石巻市南浜地区復興祈念公園(仮称)基本計画

クロマツ海岸林



- ・公園への潮風を緩和させる、かつての土地利用であった浜堤のクロマツ林
- ・明るい林内に四季の彩りが展開する

クロマツ・常緑低木林



- ・高台斜面の海と河口からの環境圧を考慮したクロマツと常緑低木
- ・津波の届かない安全な空間であることを示すヤブツバキ

クロマツ疎林



- ・広場などの開けた空間の風環境を緩和させるクロマツ疎林
- ・林内での諸活動も可能な、足元の抜けた明るい林床

鳥：シジュウカラ、ヒヨドリ、ムクドリ、ハシブトカラス、ハシボソガラス
 鳥：ノスリ、トビ、カケス、シメ、アオジ / 昆：エンマコオロギ、ツブレサセコウロギ
 鳥：トビ



※黒字の種は、現地調査での確認種
 青字の種は、資料調査より生息が予想される種

鳥：カルガモ、マガモ、オナガガモ、コガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、カイツブリ、アオサギ、ゴイサギ、ダイサギ、コサギ、クイナ、タシギ、カワセミ、モズ、ツバメ、オオヨシキリ、セツカ、ハクセキレイ、カワラヒワ、マヒワ
 鳥：モツゴ、ミナミメダカ
 昆：アジイトトンボ、アオモンイトトンボ、ギンヤンマ、ショウジョウトンボ、シオカラトンボ、ウスバキトンボ、アキアカネ、ノシメトンボ、アメンボ、マツモムシ、ハイロゲンゴロウ、コガムシ
 鳥：ハクセキレイ、スズメ
 昆：ウスバキトンボ

湿性林・湿性草地



- ・かつての土地利用を想起させる、湿性林や湿性草地
- ・水面や湿地等の多様な環境に生きものが生息する、人が立ち入らないサンクチュアリ

芝生地



- ・開放的な広場利用を可能にする芝生地
- ・かつての街割を示す遺構や表示を際立たせる

石巻市南浜地区復興祈念公園(仮称)基本計画

庭園樹植栽地(仕立てクロマツなど)



・かつての住宅地を想起させる、仕立てのクロマツなどの庭園樹植栽地

ヤナギ並木 サクラ並木



・聖人堀を演出するサクラやシダレヤナギの並木

落葉広葉樹林



・日和山と公園のみどりの繋がりを創出し、夏季の南東風を緩和させる落葉広葉樹林
・樹林性の多様な生きものが生息する明るい樹林



野草地



・バッタやチョウ類などの草地性の多様な生きものが生息する、四季の彩り豊かな野草地

ハス植栽地



・かつての湿地の土地利用を再編し、鎮魂の場を演出する大きなスケールでのハス池

修景植栽



・各々の植栽タイプに見合う花木や草本類を組み込み、自然な修景植栽を行う

がんばろう石巻

